

1. 日 時 令和5年5月28日（日）午前10時～12時
2. 場 所 中央文化センター 講堂
3. 出席者 31名
4. 書 記 芝喜久子

5. 会議の概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 会長挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、山岡、筒井、久保寺、林田、川辺、芝（9名）

中央文化センター圏域：柴澤、渡部、杉谷、稲葉、青田、工、清水、田村、甲坂、山崎、富田、古澤、並木、土屋、岩崎、木城、橋本、比留間、柳川、和田、日向野、城阿、（17団体：22名）

(3) 府中市自治会連合会・自治会についての説明（谷本）

各町会・自治会の抱えている問題等聞かせて頂きたいので省略。

(4) 四部会の活動状況

・市民協働対策部（山岡）

分梅町地域総合防災対策の中長期計画と成果を例に補足資料をもとに説明、助成金で大量に備品を揃えることが出来る。購入後防災品をすぐ使える様に考慮する必要がある。デジタル化により若い世代を取り込める。今シニアクラブの会員が増えている様だ、シニアクラブに学ぶことが有るのではないかと思う。

・生活安全対策部（林田）

視察研修は6月15日に国際消防防災展を見学する。その他府中市の総合防災訓練(10月)・トランシーバーの運用訓練。ラジオフューズで防災啓発。5月21日府中市の防災訓練に参加。

・環境対策部（川辺）

空き家対策・ゴミ減量の取り組み、バス研修は9月に予定。

・福祉対策部（久保寺）

高齢化、福祉に関わることを市と連携。府中市の福祉まつりの実行委員。研修も予定。

(5) 懇談会

①関東大震災100年にあたり東京都の「自治会防災強化助成」の説明(谷本)

助成金の対応・管理等事務局が相談にのる。防災グッズの紹介。

②防災備品を備える必要性は分かるが、役員のなり手が無いので危惧している、休会せざるを得ないが良い考えを教えて欲しい。

③どうしたら会が活性化出来るか、役員になって貰えるのか、なぜ役員になりたくないのかの等の原因を探ることが必要では。

◎役員の仕事、自治会の仕事をしぼる必要があるのでは。 ◎仕事を減らす。 ◎シニアクラブを見習う(楽しい行事ばかり企画) ◎繋がりを醸成するのが町会の在り方。 ◎デジタル化

④地域に住んでいる人の意識改革をしていく術が知りたい。

⑤新しいひと達を取り込める発信は府中市なり公の所から発信して欲しい。

⑥何かに焦点を合わせ（防災とか）地道に活動して理解して頂き人を取り込む。

⑦1年交代の自治会だが3年交代にして楽しいことで繋がりが、それから防災に取り掛かった。

⑧3～40人の町会で会長は1年交代だが、何か有ったときに行政と繋がっていた方が良いと思いい何も活動せず町会は存続している。

⑨多様性のやり方があるのでは。私は子育て世代だが、つまらない会だと子供と遊んでいた方が良く
思ってしまう、今日のこの会はそうとは思わない、コアな部分があれば強制力が自治会にある。

⑩会員が減っていったら、隣の町会と共同で防災訓練等やると良い、町はわくわく感が必要。公会堂で
Wi-Fi を使用できる様に申請している。

⑪役員手当の質問があり、幾つかの自治会が具体的に答えていた。

(6) 閉会挨拶 谷本事務局長

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--